

国宝【山鳥毛】の購入について ～あれからどうなった!!～

国宝【山鳥毛】購入にかかる予算の詳細

詳細	金額	事業費
刀購入予算	5 億円	11.6 億円
名刀博物館改修費	1 億円	
ふるさと納税返礼品（送料含む）	3.6 億円	
クラウドファンディング委託料（成功報酬）	1.7 億円	
その他、消耗品、印刷製本費、シンポジウム etc	0.2 億円	

今回の国宝【山鳥毛】の購入については、購入を表明してから、賛否両論たくさん意見を伺いました。ただ、現時点でいえるのは、刀の購入の財源はクラウドファンディングとあって、インターネット経由で不特定多数から資金調達する方針であるということです。そうです、現時点では財源は寄附を集めるもので、市税は使わない方針です。

このクラウドファンディングを、今回の西日本豪雨災害を考慮して自粛していました。10月3日の総務文教委員会でクラウドファンディングについて、被災地の復興も進んでる中で、岡山県の観光誘致にも寄与したいと、11月1日から開始するという報告がありました。現在、岡山県立博物館が、【山鳥毛】を特別展示しています。瀬戸内市は、会場の一角に山鳥毛里帰りプロジェクトのブースを作らせてもらい、プロジェクトの賛同を呼び掛けています。今後は、しっかり進捗状況を市民に見えるよう公開して欲しいと思います。山鳥毛里帰りプロジェクトの見える化を図り、市民が一致団結して、このプロジェクトに取り組めるような環境を整えるよう、要望していきます。せっかくこのプロジェクトを進めるのであれば、市民が盛り上がり、瀬戸内市を盛り上げるようになるようにしなければいけないと思います。

小学校の放課後児童クラブについて ～あれからどうなった!!～

放課後児童クラブの指定管理者が決定！

放課後児童クラブの運営については、現在は保護者会にまかせています。働いているから子どもを預けている保護者にとって、運営は負担であると何度も一般質問で訴えてきました。そして、運営は市が責任を持つべきだとも、訴えてきました。そのような中で3月議会に、来年4月から放課後児童クラブの運営に、指定管理者制度を導入する放課後児童クラブ条例が上程され、可決していました。今議会では、各放課後児童クラブの指定管理者の指定が提出され、可決しました。指定管理者となる団体は、選定委員会でヒアリング等を実施し、いずれの団体も運営実績があり、指定管理者にふさわしいと判断したと報告がありました。募集にあたり、定員が10名前後の小規模なクラブには、指定管理料を国の基準で設定するとかなり低い額になり、支援員2名の雇用が難しくなるため、国の基準より、100万円以上高く設定したとも報告がありました。各クラブで働いている支援員についても、指定管理者となる法人からは、可能であれば引き続き雇用したいとの回答をもらっているが、雇用形態や賃金形態については指定管理者が決めることになるかと報告がありました。

基本は、3年間の契約となっていますが、今後いろいろなトラブルが予想されます。指定管理に出したからといっても、あくまで責任は市にあります。しっかり、指定管理者と保護者と市の3者で協議し、解決策が見つけられるよう、市が積極的に関与するよう、要求していきます。

放課後児童クラブの名称並びに指定管理者となる法人等の名称

ゆめっこクラブ1～3組	邑久小学校区学童保育所ゆめっこクラブ
今城っ子クラブ1、2組	特定非営利活動法人あいあいあ社
キッズクラブ（裳掛）	社会福祉法人 報恩会
美和っ子クラブ	美和っ子クラブ運営委員会
第1、2ひまわりクラブ	特定非営利活動法人
みゆ、キッズクラブ1、2組	おかやま放課後児童クラブ運営機構

②有害鳥獣対策について

昨年度、猟期中の狩猟捕獲に対しても1頭8,000円の補助金が出るようになり、飛躍的に捕獲数が増えました。しかし、残念なことに今年度は県からのイノシシの捕獲補助金4,000円が廃止され、本市では、猟期中のイノシシ・鹿の捕獲補助金が6,000円となってしまいました。今年度廃止された猟期の県からの補助金の復活、そして、国の鳥獣被害防止総合対策交付金の取得について、引き続き努力します。有害鳥獣対策は、対策をずいぶん前へ前へと進めることができました。しかし、市のお金ばかりを持ち出していたのでは、長続きしません。しっかりと、県・国からの支援を受けることができるよう、要望していきます。

現在猟友会の会員が51名、狩猟班が21名です。11月15日から3月15日までの猟期は、免許を取得している人なら狩猟が可能です。しかし、猟期以外の時は狩猟班にしか狩猟は認められていません。この猟期以外の狩猟に力を入れてもらわなければ、狩猟頭数を減らすことはできません。後継者の育成、世代交代を進める必要があるのではないかとというのが、私の主張です。

③長船・牛窓の学校給食調理場について

瀬戸内市は、旧町単位で学校給食調理場を運営しており、それぞれの調理場で中学校・小学校・幼稚園の給食を調理し、それぞれの学校園に配送しています。邑久学校給食調理場については、数年前から、米飯炊飯の機器に不具合が生じていました。そこで平成26年11月議会に米飯炊飯器の不具合から米飯炊飯を民間に委託する予算が提出されました。私は、修正案を出して反対しましたが、議論の末、平成27年度から米飯炊飯を民間委託となりました。私はその後も、邑久の米飯メニューのお粗末さを指摘し、米飯委託ではなく調理場で米飯炊飯すべきだと主張してきました。民間委託とはなりませんが、炊飯機器を整備し直営に戻すということで、平成29年夏期休暇中に整備しました。当初は平成29年の2学期から一部直営に戻す計画でしたが、調理業務の臨時、パート職員を確保できず、民間委託せざるを得ない状況ということで、9月議会に平成30年度4月から、邑久学校給食調理場において、調理、配送、洗浄業務を民間委託する予算5,500万円が提出されました。これについては、苦渋の選択ですが賛成しました。献立、食材の発注は、今まで通りで、民間業者が給食調理場に入って作業するのです。このことが発端となって、なし崩し的にほかの地域も委託になることを危惧していました。案の定、教育委員会から長船・牛窓も業務委託したいとの報告がありましたが、今回は総務文教委員会で、せめて1年民間委託した結果をしっかりと検証してからでなければいけないと、予算化は食い止めることができました。

各調理場の状況

	邑久	長船	牛窓
竣工	平成13年	平成16年	平成7年
調理可能食数	2,100食	2,000食	1,200食
調理食数（H29）	1,650食	1,350食	450食
必要調理員数	15人	12人	7人
調理員数（H30.4）	委託	12人	7.5人

※牛窓給食調理場はかなり老朽化が進んでいます。

邑久の業務委託が5,500万円 委託料の見込みが牛窓が3,800万円 長船が5,500万円との報告です。本来の業務委託というのは、経営の効率化を目指して行うものと認識しているのですが、瀬戸内市の給食における業務委託は税金の無駄使いといわざるを得ません。今まで通り、直営で経営するのが一番コストがかからないと思います。万が一、どうしても業務委託を考えるのであれば、まず、3調理場の統合を考えるほうが優先と考えます。牛窓の給食を、中学校と小学校に分けて、邑久調理場と長船調理場に統合すればきっと牛窓の委託料は不要と考えます。さっそく、1食当たりのコスト比較をしながら、次の一般質問で提案してみたいと思います。